

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍のため地域との交流が出来なくなっている。その為、グループホームでの生活が閉塞的になっている。	コロナ禍であっても何か交流する方法を考えていく。利用者とは何か作品を作り発表をする。	利用者が書いた習字や作品を作って、同法人の施設内や地域へ展示したり、法人誌等に発表する。	3ヶ月
2	18	コロナ禍の中、外出が出来ないので、利用者と接する時間がいつもより持てる。共に過ごし支え合える関係を見直していきたい。特に、徐々に進む認知度や体力の衰えをどうしたら防げるかを考え直してみる。	コロナ前は、外出等で気分転換をしてきたが今は出来ない状況となっている。利用者個々の状況を見直し、認知度や体の動き等現状を維持できるようにしていく。	計算問題や常識問題のドリルをしたり、運動でも関節の伸縮運動等を取り入れ、継続をしていく。	6ヶ月
3					
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。